

スマホゲームの基礎知識②

～「課金」の方法とトラブルについて～

スマホゲームの「課金」について、どのような約束をお子さまとしているでしょうか。「スマホで課金はしない」というルールにしているご家庭も多いと思いますが、スマホゲームの多くは、アイテムやキャラクターなどを手に入れるために「課金」をしたくなる仕組みを備えています。大人が「課金」の方法、仕組みを理解し、子どもたちが不要なトラブルに巻き込まれないようにしましょう。

◇課金の方法について

スマホ向けゲームの「課金」の方法について、主なものは次の3種類になります。

1、キャリア決済

＝通話料や通信料などに「課金」分も合算し、まとめて携帯電話会社へ支払う方法

2、クレジットカード決済

＝登録したクレジットカードで支払う方法

3、プリペイドカード

＝コンビニエンスストアなどで販売されているプリペイドカード
(iOSの場合はAppStore & iTunes ギフトカード、Android
はGoogle Play ギフトカードなど)を購入し支払う方法



1、2については、暗証番号等を入力しなければ決済できない設定にすることが可能なので、暗証番号など決済方法の設定やクレジットカード自体がしっかり管理できていれば、基本的には保護者の知らないところで子どもが課金することは困難 ※です。

※ただし、子どもが勝手に暗証番号やカード番号を入力して「課金」をしていた事例や、スマホ内に保護者が登録したカード情報が残されていたため、子どもが気づかずに「課金」をしていた事例などもあります。利用明細書を毎月確認して、保護者が知らないカード利用がないか確かめましょう。

3のプリペイドカードは、ほとんどのコンビニエンスストアで取り扱っており、購入時の年齢確認や身分証明書の提示なども要らず、誰もが簡単に購入できます。そのため、ネット上では「親バレしないで課金するおすすめの方法」などと、使い方まで詳細に紹介されているような状況です。

保護者が「うちの子どもには一切課金をさせていない」と安心していても、実際は、「子どもが毎月の小遣いでプリペイドカードを購入して、相当な金額を使っていた」、「使用済みのプリペイドカードを見つけて初めて課金に気づいた」などという事例もあります。

ゲームの利用時間や方法、課金などについて、日頃から家族で話し合い、ルールを子どもと一緒に決めることが大切です。また、あらかじめ子どもが利用できる機能に保護者が制限をかけることも可能です。(※ iOS/Android ともにアプリ内課金を制限することが可能です)

< 出典 > ・ 国民生活センター Web版「国民生活」No.87 (2019) <http://www.kokusen.go.jp/wko/data/wko-201910.html>

・ 総務省「インターネットトラブル事例集 (2018年度)」 http://www.soumu.go.jp/main_content/000590558.pdf

・ 相模原市教育センター「ネットパトロールだより 98号」 <http://www.sagamihara-kng.ed.jp/>